

U.S. Indicators

米国 緩やかな再加速の動き (15年6月ISM製造業景気指数)

発表日：2015年7月1日 (水)

～石油・石炭が弱いものの自動車などの堅調維持で予想上振れ～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

ISM製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
14/10	57.9	63.0	62.8	55.2	52.5	56.1	53.0	53.5	51.5	54.5
14/11	57.6	62.1	62.6	54.6	51.5	57.0	55.0	44.5	55.0	56.0
14/12	55.1	57.8	57.7	56.0	45.5	58.6	52.5	38.5	52.0	55.0
15/01	53.5	52.9	56.5	54.1	51.0	52.9	46.0	35.0	49.5	55.0
15/02	52.9	52.5	53.7	51.4	52.5	54.3	51.5	35.0	48.5	54.0
15/03	51.5	51.8	53.8	50.0	51.5	50.5	49.5	39.0	47.5	52.5
15/04	51.5	53.5	56.0	48.3	49.5	50.1	49.5	40.5	51.5	54.0
15/05	52.8	55.8	54.5	51.7	51.5	50.7	53.5	49.5	50.0	55.0
15/06	53.5	56.0	54.0	55.5	53.0	48.8	47.0	49.5	49.5	53.5

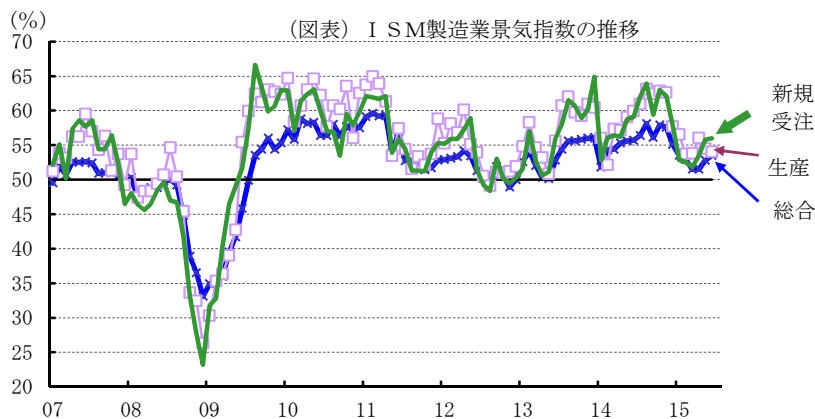
(出所) ISM: the Institute for Supply Management

ISM製造業景気指数 は53.5と前月比上昇

15年6月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、53.5と前月比0.7%ポイント上昇し、市場予想を上回った(市場予想中央値53.2、当社予想53.9)。製造業部門は、西海岸の港湾ストなどによる年初の鈍化から、緩やかに再加速していることが示された。全18業種中11業種が拡大、4業種が縮小、自動車など輸送機器が牽引している。

構成項目では、生産、入荷遅延が低下したが、新規受注、雇用、在庫が上昇した。総合指数への構成項目別の寄与度をみると、入荷遅延(前月比▲0.38%ポイント)、生産(前月比▲0.10%ポイント)が押し下げ寄与となった一方、雇用(前月比+0.76%ポイント)、在庫(前月比+0.30%ポイント)、新規受注(前月比+0.04%ポイント)が押し上げ寄与となり、総合指数は前月比0.7%ポイント上昇した。

6月のISM統計では、ドル高や輸出相手国の成長鈍化の影響が残存する一方で、輸入や在庫の増加など米西海岸での港湾ストの悪影響の解消が確認された。企業活動の安定持続や、改善が多く報告された。ただし、石油・石炭では原油価格下落の影響が残存しているほか、食品では鳥インフルエンザによる悪影響が報告された。自動車は米国内需要が安定している一方、欧州の鈍化、アジアの減少が指摘された。



(出所) ISMデータより当社加工

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であると限りません。